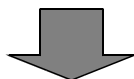


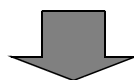
米国及びカナダから輸入される牛肉等に関する委員会の議論の概要

・米国及びカナダから輸入される牛肉等に係る食品健康影響評価の流れ

厚生労働省、農林水産省から食品健康影響評価の要請（平成17年5月24日）



第96回食品安全委員会(平成17年5月26日)
プリオン専門調査会で調査審議することを決定



第34回プリオン専門調査会(平成17年10月31日)
報告書案が取りまとめられた。



第118回食品安全委員会(平成17年11月2日)
評価結果案について、11月2日から11月29日まで、
意見・情報の募集を実施することを決定。
また、11月14日から11月22日まで、全国7都市
で意見交換会を行った。



第123回食品安全委員会(平成17年12月8日)
寄せられた意見・情報を取りまとめ、食品安全委員会で評価
結果案が審議の結果、了承され、同日付けで評価結果を厚生
労働省、農林水産省に通知した。

・プリオン専門調査会の審議

- ・プリオン専門調査会会合は、すべて公開で行った。
- ・審議は、自ら収集したり、リスク管理官庁から提出されたデータや知見等を基に審議を開始し、審議を進める段階においても、審議に必要な資料の提出をリスク管理官庁にあらためて求め、提出された資料にもとづいてさらに審議を行った。

・平成17年5月24日のリスク管理官庁からの米国及びカナダから輸入される牛肉等に係る諮問後からのプリオン専門調査会の議論の概要

<第25回会合>

1. 年月日 平成17年5月31日(火)

2. 議事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・厚生労働省及び農林水産省から諮問に関する説明を聴取
- ・諮問の経緯及び考え方について質疑応答

(参考) 諮問内容

- 1) 現在の米国の国内規制及び日本向け輸出プログラムにより管理された米国から輸入される牛肉及び牛の内臓を食品として摂取する場合と、我が国でとさつ解体して流通している牛肉及び牛の内臓を食品として摂取する場合の牛海綿状脳症(BSE)に関するリスクの同等性
- 2) 現在のカナダの国内規制及び日本向け輸出基準により管理されたカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓を食品として摂取する場合と、我が国でとさつ解体して流通している牛肉及び牛の内臓を食品として摂取する場合の牛海綿状脳症(BSE)に関するリスクの同等性

<第26回会合>

1. 年月日 平成17年6月21日(火)

2. 議事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・米国におけるBSE疑似陽性牛に関して報告()
- ・第73回国際獣疫事務局(OIE)総会の概要に関して報告
- ・諮問の経緯及び考え方について質疑応答
- ・専門委員から「評価の進め方」に関する提案・審議

() 当該疑似陽性牛については、6月24日に陽性確定

<第27回会合>

1. 年月日 平成17年7月14日(木)

2. 議事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・米国及びカナダの両国政府から厚生労働省及び農林水産省を通じて提出された補足資料並びに厚生労働省及び農林水産省から提出された補足資料に関する説明の聴取及び質疑
- ・「評価の進め方」に沿って、生体牛や肉骨粉の輸入によるBSEプリオンの侵入リスク、飼料規制やサーベイランス結果等に基づくBSE汚染状況等について審議

<第28回会合>

1. 年月日 平成17年8月1日(月)

2. 議事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・米国におけるBSE疑似陽性牛に関して報告()
- ・米国及びカナダの両国政府から厚生労働省及び農林水産省を通じて提出された補足資料並びに厚生労働省及び農林水産省から提出された補足資料に関する説明の聴取及び質疑
- ・専門委員の作成した評価まとめ表について説明を行うとともに、「評価の進め方」の個別の項目に沿って、米国、カナダ及び日本の比較検討

()当該疑似陽性牛については、8月3日に陰性確定

<第29回会合>

1. 年月日 平成17年8月24日(水)

2. 議事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・米国及びカナダの両国政府から厚生労働省及び農林水産省を通じて提出された補足資料並びに厚生労働省及び農林水産省から提出された補足資料に関する説明の聴取及び質疑
- ・評価まとめ表を基に、専門委員の作成した項目別比較表について説明を行い、米国、カナダ及び日本の生体牛のBSE感染度と食肉のBSEプリオン汚染度について比較検討。

<第30回会合>

1. 年月日 平成17年9月12日(月)

2. 議事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・専門委員から、現地視察を踏まえた「米国及びカナダにおける牛肉産業の最新情報」について報告。
- ・米国及びカナダの両国政府から厚生労働省及び農林水産省を通じて提出された補足資料並びに厚生労働省及び農林水産省から提出された補足資料に関する説明の聴取及び質疑。
- ・座長より、報告書案「たたき台」について説明があり、生体牛のリスク(前半部分)について審議。

<第31回会合>

1. 年月日 平成17年9月26日(月)

2. 議事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・米国及びカナダの両国政府から厚生労働省及び農林水産省を通じて提出された補足資料並びに厚生労働省及び農林水産省から提出された補足資料に関する説明の聴取及び質疑。
- ・座長及び専門委員より、前回の会合及び専門委員からのコメントを踏まえて作成した、報告書案「たたき台修正案」について説明があり、食肉のリスク(後半部分)を中心に審議。

<第32回会合>

1. 年月日 平成17年10月4日(火)

2. 議 事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・米国及びカナダの両国政府から厚生労働省及び農林水産省を通じて提出された補足資料並びに厚生労働省及び農林水産省から提出された補足資料に関する説明の聴取及び質疑。
- ・座長及び専門委員より、前回の会合及び専門委員からのコメントを踏まえて作成した、報告書案「たたき台修正二次案」について説明があり、生体牛及び食肉のリスク全般について審議。

<第33回会合>

1. 年月日 平成17年10月24日(火)

2. 議 事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・動物性油脂について参考人(日本獣医畜産大学木村教授)から説明。
- ・米国及びカナダの両国政府から厚生労働省及び農林水産省を通じて提出された補足資料並びに厚生労働省及び農林水産省から提出された補足資料に関する説明の聴取及び質疑。
- ・座長より、前回までの議論及び専門委員からのコメントを踏まえて作成した、報告書案「たたき台修正三次案」について説明があり、全般にわたり審議。

<第34回会合>

1. 年月日 平成17年10月31日(月)

2. 議 事 米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について

- ・座長より、前回までの議論及び専門委員からのコメントを踏まえて作成した、報告書案「たたき台修正四次案」について説明があり、結論部分を中心に全般にわたり審議。
- ・座長が議論を踏まえて修正した報告書案を専門委員に送付し、確認を求めた上で最終的な報告書案とし、これを食品安全委員会に報告。

*本審議結果については、第118回食品安全委員会(平成17年11月2日)において報告され、意見・情報の募集に付された(募集期間:平成17年11月2日~同年11月29日)。また、平成17年11月14日から同年11月22日まで、全国7都市で意見交換会を実施した。

その後、寄せられた意見・情報を専門委員に送付し検討に付した。

その結果を踏まえ、第123回食品安全委員会(平成17年12月8日)に当該評価結果案が提出され、審議の結果、了承され、当該評価結果を厚生労働省、農林水産省に通知する事が決定された。